

## Yanmar サウスアメリカが新工場落成式

Yanmar サウスアメリカ（北原健二社長）は10日、トラクター生産の新工場をお披露目した。

1957年に Yanmar do Brasil を設立、その後 2007 年に Yanmar South America に組織を改編、昨年は人生で還暦にあたる 60 周年を迎えたばかりだ。今年は生まれ変わりの初年度にあたる。

今までのエンジン、農業機械、ディーゼル発電機セット、小形建機の製造販売や船舶用エンジンの輸入販売に加え、本格的なトラクター組み立て生産が新たに加わる。

ヤンマーは 2017 年、インドの主要農機メーカーの ITL に 30% 出資、協力して顧客を開拓、全世界に生産販売拠点を設置、地域に密着したベストなソリューションを提供している。

来年誕生する新政権を前に、新商品を投入、チャレンジングな Yanmar South America の飛躍的な今後の益々の発展が期待される。

新工場の落成式にはヤンマー本社から小林直樹専務取締役、中川文夫マーケティング部ブラジルグループ専任部長、ヤンマーホールディング（株）の新村誠取締役 経営企画部長、ヤンマーアグリ（株）の北岡裕章代表取締役社長等が掛け付け、同社のディーラー、サプライヤー、従業員、元 Yanmar do Brasi 社長 OB の後藤 隆（当会議所 8 代会頭）、山岡一夫 IDSA 取締役社長等、また来賓として Nilson Gaspar Indaiatuba 現職市長、在サンパウロ総領事館の上田基仙経済担当領事、大勢の会員企業代表者に加え平田事務局長が参加した。約 500 名が参加、盛大な落成式を挙行、新工場・新製品の門出を祝った。